

## 憲法違反の安保法案(戦争法案)を廃案に

自民党・公明党の政府与党は多くの国民の反対の世論を無視し、安全保障関連法案を一括して、衆議院において採決を与党のみで強行しました。

この法案は、昨年7月に閣議で「集団的自衛権の行使」を決定したことに基づき、その行使を具体的に実施するためのものです。

集団的自衛権—これは日本が攻撃されていなくても仲間が攻撃（この場合アメリカ）を受けたら共に戦う（防衛）ことを意味します。

これまでの政府見解は、戦力不保持、国の交戦権を認めないとした憲法のもとでは、海外での武力行使につながる「集団的自衛権は行使出来ない」と一貫していました。

それは、立憲主義—これは法に従って権力が行使されるべきという政治原則一を原則とする日本においては当然のことだからです。

その基本中の基本を踏みにじって、海外での武力行使を認めろというのが、安全保障法案の中身です。

この自民・公明の政府与党の姿勢に対し、広範囲の国民から反対の声が上がり、国会周辺はもとより、日本全国で集会やデモが連日開催され、反対の世論は日々高まりをみせています。

政府が要請した参考人からも明確に「憲法に反する法律」と指摘されるような法律は断じて成立させてはなりません。

戦争法案を廃案にし、平和憲法を守り抜くために力を合わせて奮闘しようではありませんか。

2015年7月  
慶應義塾労働組合四谷支部  
執行委員会



# 8月21日(金)

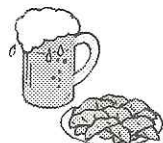
昼はカレー!  
夜はビール!

・ユニオン cafe

11:00~15:00 会費 200円

・納涼会

17:00~ 会費 1000円



組合事務所にてお待ちしております

# こんちわ新聞

第 3256 号

2015 年  
8 月 6 日

慶應労組  
四谷支部

## 安保法制NO! 首相官邸包囲に参加して

衆議院本会議での安保関連法案の強行採決に抗議するため、国会と首相官邸を包囲する行動に8人で参加しました。

7月24日金曜日の夕方、雷雨のあとでとても蒸し暑い中でしたが、霞ヶ関駅を降りると戦争NO!のプラカードや旗を持った老若男女が続々と集まってきました。一緒に、「戦争反対」、「安倍やめろ」と叫びました。全体で7万人の参加だったそうです。

この時にも地球上で戦争は行われています。日本は憲法9条を守り、どん

な戦争にも加担しないという姿勢を貫くべきだと思います。看護師という命を守る仕事をしてきたので、命を奪う戦争につながるどんな芽も摘み取らなければならぬと思いました。

「微力であるが無力ではない」という言葉をかみしめつつ、これからも意思表示していこうと思いました。

行動したら、変わるかもしれないことがあるんだな、と思いました。また、表現をして良いのだと思いました。

戦後70年目の節目に考えなくてはいけないですね未来の平和のために。

外来看護師 A

病棟看護師 B

検査技師 C



今起こっていることを、紙面やTVで他人事に思うのではなく、実際に集会に参加するということ、行動を起こすことが重要と感じました。戦争法案がこのまま通ってしまうと、これから先の子供達の未来は、今まで私たちに出来てきた普通の生活さえも、送れなくなってしまうと思います。私達が選挙で選んで来た今の政治家が行うことを、大人が責任を持って、国の進む方向を考えないと行けません。

外来看護師 D